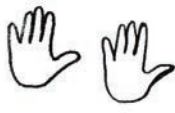




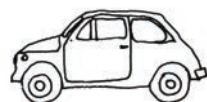






日本語にない音

ポイント

1. 日本語にはない段を使う音がある。(例えば、ていー「手」、とうー「10」など)
2. 「喉をしめる音」がある。(例えば、'わー「豚」、'ゆー「魚」など)
3. 小さな「わ」を使う音がある。(例えば、くわー「子」、みーぐわー「次男」など)

1 日本語にない段

1-1 た・だ 行	① てい	② とう	③ でい	④ どう
	 ていー 「手」	 とうー 「戸」	 ふでい 「筆」	 どうー 「自分」
1-2 ち行	① ちえ (che)		② じえ (zye)	
	 あちえー? 「歩いたの?」		 くるまし いじえー? 「車でいったの?」	
1-3 や行	① い (yi)		② いえ (ye)	
	 いんが 「男」		 いえー 「祝い」	
1-4 わ行	① をう (wu)		1-5 ふ行	① ふあ
	 をうなく 「女」			 ふあー 「葉」

のど

2 喉をしめる音



えらぶむにで「馬」と言ったり、「魚」と言うとき、語の最初で、一度喉をしめてから、一気に発音します。
 この音は、専門的には「声門閉鎖音」といいます。語の頭に「っ」(小さい「つ」)を言うようにすると、発音
 できます。このテキストでは、この「っ」を「`」という記号で表します。



- (1) 'まー (つまー) (2) 'ゆー (つゆー)
 (3) 'わー (つわー) (4) 'よー (つよー)

2-1 'ま行	① 'ま	② 'む	③ 'め
	 'まー 「馬」	 'むーゆん 「思う」	 'めーゆん 「いらっしやる」
2-2 'や行	① 'や	② 'ゆ	③ 'よ
	 'やー 「ねえ」	 'ゆー 「魚」	 'よー 「洞窟」
2-3 'みや行	① 'みゃ	2-4 'わ行	① 'わー
	 'みゃー 「猫」		 'わー 「豚」

3 小さな「わ」を使う音

小さな 「わ」	① くわ	② ぐわ
	 くわー 「子供」	 はなしゃぐわー 「可愛い子供」